

【情報モラル教室】

5月30日(金)6校時、全校を対象として情報モラル教室を実施しました。e-ネットキャラバンという文部科学省の企画を通じて、NTT-東日本青森から講師が来校しました。

情報化が進むと共にインターネットが活用の幅を広げてとても便利なツールとなっています。ただ、利用の仕方によっては危険なツールになってしまうのも現実です。メール等によりコミュニケーションを楽しむサイトでのトラブルが全国的にも後を絶ちません。実名や学校名、顔写真など個人情報に掲載することによってそれらが悪用される被害、特定の個人への誹謗中傷や仲間はずれ・無視などによるネットいじめ、他にネット詐欺や出会い系サイトを介した性被害などがあります。そこで、自分自身が傷つかないように、また、他者を傷つけないように、正しい知識とモラルを身につけることが目的でした。

講話を聞いたり、スライドを見て説明を聞いたり、メールで見知らぬ相手に個人情報を教えたためにあった被害やよく知らないサイトにアクセスしたことによる架空の支払いが請求される被害の映像を見たりしました。そして、インターネットを利用する上で意識して注意すべき点が五つあげられました。

- ・思いやる心をもつこと。
- ・法律やルールを守ること。
- ・情報を見極めること。
- ・自分の身は自分で守ること。
- ・公共性を意識して活用すること。

最後に、これまでもこれからもどのように生活すればよいか！それは、三中の学校教育目標「創造と感動、そして笑顔」そのものであるとおっしゃいました。一人一人が笑顔であることが大切であり、そのようになるための生活を考えていけばよいのだということでした。

【ガジュマル】

前回の生徒指導だより2号・3号で「GPS」(ガジュマル・プロジェクト in 三中)についてのお知らせをし、いじめを防止するための呼びかけといじめへの対応を掲載しました。また、各家庭に「GPS」についてのチラシも配付しました。

ガジュマルは、「多幸の樹」と言われ、独特の形で、すべての樹の姿が違うほど個性的です。一人一人の違いが認められ、それぞれ一人一人が幸せな毎日を送れるよう、我が三中学区ではGPSを立ち上げ、各家庭や小・中学校、地域での話し合いを深め、できることから実践を積み上げていきます。

このように、ガジュマルは三中のいじめ防止の要となっています。そこで、そのガジュマル(鉢)を各学級に置くこととなりました。先週全校朝会で説明をし各学級に置きました。ガジュマルを育てることを通じて、いじめをしない・させないといった防止についての意識を近くで感じることで、生きているもののお世話をし命の大切さや他への思いやりの大切さに改めて触れ直し、本来自分自身の中にある優しさを感じるなどにつながってほしいと思います。

※配付したチラシに「わが家の1か条」があるように、今後、いじめ防止について各学級で「わが学級の1か条」を考え、それを記入したメモをガジュマルの鉢に表示したいと考えています。
※写真は各学級のガジュマルの鉢です。

